

第14回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」の議事概要について

1. 開催日時：令和2年8月4日（火）13：55～16：00
2. 開催場所：メルパルク京都 5階 会議場A 京極
(京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13)
3. 委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）
野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）
箱石 憲昭（国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長）
◎深川 良一（立命館大学理工学部 特命教授）
◎印は委員長（50音順・敬称略）
4. オブザーバー： 滋賀県・京都府・大阪府

5. 議事概要：

委員会は委員5名全員の出席により、事務局から天ヶ瀬ダム再開発事業、大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

<天ヶ瀬ダム再開発事業について>

- ・ 事業完了が見えてきているため、全体を通した事業費・事業期間の変化、およびその影響について総括していただきたい。
- ・ 再開発事業における地質調査がどうあるべきか将来に活かせるように取りまとめできないか。
- ・ 事業が終盤に来ているため、工期を守ったうえで事業費が増えないように注意して監理していただきたい。
- ・ 施設が所要の機能を有しているのかを確認するための試験放流について観測体制をしっかり検討していただきたい。

<大戸川ダム建設事業について>

- ・ 引き続きコスト縮減を図り、このまま事業を進めていただきたい。

<川上ダム建設事業について>

- ・ 事業経緯の表現について、ほかのダムと合わせていただきたい。
- ・ 事業完了が見えてきているため、全体を通した事業費・事業期間の変化、およびその影響について総括していただきたい。

<丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について>

- ・ 提案いただいた内容で引き続き整備を進めること。

<総括>

- ・ 事業を進めるうえで、新型コロナウイルス感染拡大の状況下において、円滑な推進につ

いてあらかじめ検討を進められたい。

(以上)